



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

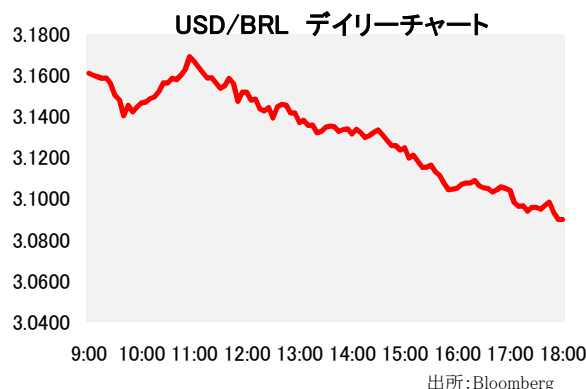
1. マーケット・レート

			6月5日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1420	3.1120	3.0970	3.1180	3.0900	-0.0280
	BRL/JPY	Spot	39.97	40.01	40.14	39.35	39.94	+0.59
	EUR/USD	Spot	1.1114	1.1291	1.1281	1.1328	1.1258	-0.0070
	USD/JPY	Spot	125.63	124.52	124.29	122.74	123.47	+0.73
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.047	14.035	14.056	14.119	14.210	+0.091
	Future	1Year(p.a.)	14.024	13.999	13.996	14.117	14.228	+0.111
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	1.412	1.464	1.420	1.484	1.411	-0.073
		1Year(p.a.)	2.090	2.075	2.029	2.102	1.963	-0.139
株式	Bovespa指数		52,973	52,810	52,816	53,876	53,689	-188
CDS	CDS Brazil 5y		246.94	249.50	244.50	249.45	239.96	-9.49
商品	CRB指数		222.529	223.033	226.427	228.184	225.305	-2.88

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

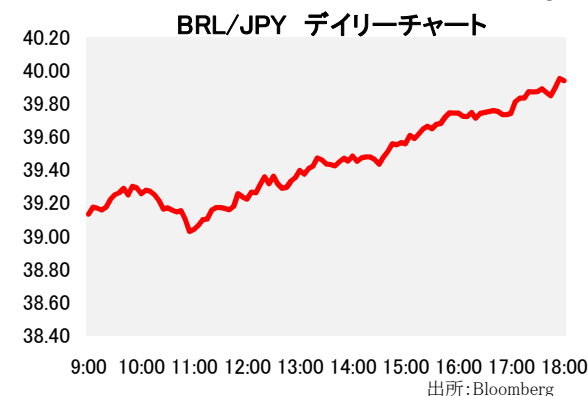
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.58%	0.61%	0.70%
IGP-M Inflation 1st Preview	0.35%	0.47%	0.51%
(米)小売売上高速報(前月比)	1.2%	1.2%	0.2%
(米)新規失業保険申請件数	275K	279K	277K
(米)輸入物価指数(前月比)	0.8%	1.3%	-0.2%



3. 要人コメント

ブラジル中銀	中銀は2016年12月までにCPIを4.5%に到達させる。中銀は利上げペースを速めようとは考えていない。
--------	--



4. トピックス

- 本日のレアルは3.1560で寄り付いた。昨日引け後に伯中銀が為替介入プログラムのロールオーバー金額を減額すると発表したことを受けて、レアルは前日引けからレアル安方向に窓を開けて寄り付いた。朝方は、レアルの下値を試す動きと短期筋の利食いが交錯する中、レアルは本日の安値となる3.1700をつけた。早朝に発表されたCOPOM議事録が前回と似た内容で、引き続きインフレに対する警戒を続けて行くことが示されたことから、レアルの追加利上げ期待が高まったこともあり、レアルは次第に底堅く推移した。夜間に発表された中国5月鉱工業生産が市場予想を上回ったことや、5月米小売売上高が予想通り前日から大きく伸びたことなどを受けてリスクオンムードになると、レアルは窓を埋めに行く動きとなり、短期筋のストップロス巻き込みながら上昇した。引けにかけて高値となる3.0890を示現し、結局3.0900で引けた。
- 国際エネルギー機関のレポートで、OPECが増産を続けていることが示されると、供給超過への懸念から原油価格は反落した。WTI先物7月限は61ドル台から60ドル前半に反落した。中銀の利上げ見通しが強まったこともあり、ボベスバ指数は反落している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。